

# 小峰城の見どころいろいろ

## ◆戊辰戦争の弾跡

戊辰戦争で激戦となったのが、小峰城の南にある稲荷山での戦闘でした。小峰城の復元の際に使われた稲荷山の杉から、弾丸が見つかりました。



小峰城歴史館で復元について深く学べます。



## ◆新はつり

梁を見ると鱗のような模様が見えます。これは「新はつり」といい宮大工が木材の表面を削るために用いる新による表面加工の技法です。これによって木の耐久性を向上させることができるそうです。

## ◆おとめ桜伝説

本丸の石垣が何度も崩れ、難工事の完成を祈る人柱となった娘の霊を慰めるため、一本の桜の樹を植えたとされています。現在は二代目が城を彩り、訪れる人々の心を魅了します。春になると新たに芽吹いた桜が艶やかに城内を彩ります。



## ◆狭間・石落とし

「奥州の抑え」として城を守るため、狭間や石落としなどの防御設備が巧みに配置されました。攻め手を寄せ付けぬ堅固な構えが、南の関門としての役割を物語っています。



## ◆様々な時代の石垣

小峰城は石垣ランキングで第3位に選ばれたことがあります。「歴史読本」2009年05月号「築城後約400年前から200年前までの様々な時代の石垣が見られるのは珍しいことで、石垣をメインに見に来られる方もいます。また、石垣の隠れ文字やマークを見つけて、当時の様子に思いを馳せるのもおすすめです。」



円(まんじ) 矢穴

## ◆最古の石垣

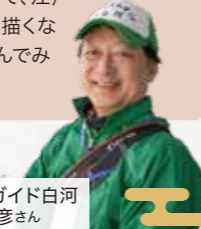
三重櫓の北面石垣の一部は、積石が他よりも不定形であるなどの特徴があり、丹羽長重公が白河藩主になる前、会津藩が治めていた頃の慶長年間(1596-1615)頃のもので、小峰城跡で最古の石垣と考えられています。



## 日本100名城スタンプを集めよう!



歴史ある街で、お城や石垣の違いを見つけたり、400年前から変わらない市街地の道を、古地図を片手に散策して、江戸時代を思い描くなどして楽しんでみてください。



ツーリズムガイド白河 根本文彦さん

## 根本さんおすすめ撮影SPOT



ある場所から撮影するとこんな写真が撮れます!ぜひ探してみてください。



# 小峰城のいろは

白河にそびえる小峰城。石垣の迫力、櫓の美しさ、そして歴史に秘められた数々の物語。地元だからこそ知っておきたい、小峰城の魅力をまるごとお伝えします! これを読めば、あなたも城歩きがもっと楽しめるはず!

## 小峰城の歴史

小峰城は、約650年前の南北朝時代、14世紀半ばに結城家が小峰ヶ丘に城を築いたことが始まりとされています。

初代白河藩主となった丹羽長重公が江戸時代の寛永6年(1629)からおよそ4年の歳月をかけて城郭の大改修を行い、随所に石垣を多用し、阿武隈川を付け替え外堀代わりとして、北からの敵に備えた城になりました。

あわせて整備された城下町は現在の白河市街地の基礎となっています。現在の市街地の大半はお城の敷地内で、広さは東京ドーム約11個分程ありました。現在は3個分程が残っています。

天守閣に見えるのは実は「三重櫓」です。元和元年(1615)に「武家諸法度」が発令され天守閣のあるお城が造られなくなり、天守を模した「三重櫓」が造られました。



## 小峰城歴史館

城の歴史や歴代城主に関する資料の展示があり、VRシアターでは江戸時代の小峰城をCGで再現した映像を体験できます。

9:00~16:30※企画展開催中は、時間が変更となる場合があります。  
休 月(祝日の場合は開館)、祝日の翌日、年末年始(12月28日~1月4日)  
料 一般300円、小中高生・障がい者100円※20名以上の団体は50円引き  
☎ 0248-24-5050

## 2度の再生物語

その後約1200年の時を経て、平成3年(1991)に三重櫓、同6年(1994)に前御門が、絵図や発掘調査の成果をもとに木造で忠実に再現され、日本100名城に数えられ、平成22年(2010)には、国の史跡に指定されました。同23年(2011)に東日本大震災より石垣が崩落。崩落前に撮影された写真や書物を参考に崩れた石ひとつひとつに番号をふり、江戸時代の伝統工法に基づいて修復が行われ、震災発生から8年後の同31年(2019)3月に復旧しました。

## 復元を支えた松平定信公

天明3年(1783)に白河藩主となった松平定信公は、藩政だけでなく、城郭・城下町の整備にも力を注ぎました。

このとき作成されたと言われるのが「白河城御櫓絵図」です。この絵図は、当時の小峰城の構造を詳細に描いた貴重な史料であり、櫓の配置や意匠、石垣の形状に至るまでが克明に記されています。

復元された小峰城三重櫓は、この「御櫓絵図」や古文書、発掘調査の成果をもとに、可能な限り忠実に当時の姿を再現することを目指して設計・施工されました。特に木造での復元は、全国的にも珍しい本格的な事例であり、定信公が築いた文化的遺産を現代に伝える試みでもあります。



白河城御櫓絵図より(県指定重要文化財) 白河市歴史民俗資料館蔵



松平定信像 福島県立博物館蔵

# 達成まであと少し!あなたも城主に! 小峰城一石城主募集中!



4月1日現在  
13万9290石

詳細はこちら



清水門の復元に向けた寄付額1,000円を「一石」とみなし、白河藩の最大石高である15万石をめざして、皆さまと一緒に取り組むプロジェクトです。寄付された方には「小峰城一石城主特典」があります。

【問い合わせ先】白河市文化財課 ☎ 0248-28-5535

# 休憩はこちらへ 二ノ丸茶屋

ここでしか食べられないご当地メニューやお土産、小峰城オリジナルグッズが買えます。



白河だるま パーガー 500円



ソフトクリーム(左)いちごミルク(中)抹茶(右)とうふミルク 各400円



国産豚 ロース カツ煮丼 800円



あんみつ 550円

営 9:30~17:00(11月~3月は16:00まで)  
休 11月~3月の毎週水曜日、年末年始  
☎ 0248-24-0275